

第1回 長野県新型インフルエンザ等対策懇談会

日時 令和6年8月1日(木)
16:00~17:30

場所 県庁議会棟第2特別会議室

1 出席者

構成員 飯塚康彦(医師会副会長)、本田孝行(県立病院機構理事長)、山崎善隆(信州医療センター副院長兼感染症センター長)、松本清美(看護協会会長)、花岡正幸(信大病院長)、保谷芳宏(経営者協会総務部長)、重野崇(中小企業団体中央会連携支援部支援課長)、水野雅義(商工会議所連合会長)、間瀬一朗(商工会連合会長)、根橋美津人(日本労働組合総連合会長野県連合会長)、花岡利夫(市長会長)、羽田健一郎(町村会長)
(敬称略)

長野県 前沢危機管理部長、小野消防課長、中田副参事兼課長補佐、塚原感染症対策課長

2 内容

(1) 長野県新型インフルエンザ等対策懇談会について

懇談会の開催趣旨、体制等について説明

(2) 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

- ・ 政府行動計画の改定内容について

…資料1

資料1-1~1-3 を説明

- ・ 本県行動計画の改定について

…資料2

資料2-1、2-2 を説明。構成員から聴取した主な意見は以下のとおり。

(本田座長)・行動計画の一番の目的は、ワクチンができるまでにいかに亡くなられる方を少なくするか。

・ 感染症の教育という観点が欠けていると思う。ワクチンが出来るまでの数カ月間、一人ひとりが罹らないようにする方法を住民の方が医療従事者と同じくらいの知識を持っていれば、かなりの確率で自分自身を防ぐことができると思う。

(松本会長)・保健所に対応するなかで平時の取組の重要性を感じていたところ。研修のやり方や、誰がやるのかなど実効性のあるものを書いていきたい。保健所の中でもリーダーとして統率できる人材を普段から育成していかないといざという時に動けない。育成の仕方も含めて具体的に確認いただけたら。

・ 施設での発生時の対応を具体的にどうしていくのか、医療者へのフォローをどうしていくのか。

(花岡先生)・行動計画の一番の目標が何かよく分からない。大元の目標が明確でないと捉えどころのない対策になってしまうという印象。

(飯塚先生)・感染患者とそれ以外の患者双方の命を守らなければならない。一般医療との両立の視点も計画に組み込めるか検討が必要。一方で経済対策も重要。影響

を受けた人々を元の生活に戻れるようにする観点が必要。
(根橋会長)・役割分担が重要。できることできないことあるので、医療の役割、経済事業者の役割を明確化し、それを平時から確認していくことが重要。

(3) 本県の新型コロナウイルス感染症対応の振り返りについて …資料3
資料3-1、3-2 を説明

(4) その他
今後のスケジュール等について説明